

研究課題の名称

術中ブッシュアップを取り入れた腹臥位での脊椎手術における皮膚障害予防効果

研究の目的及び意義

褥瘡の発生機序について全身麻酔科での手術を受ける患者は、褥瘡発生の要因である局所の循環障害、長時間圧迫など様々なリスク環境に置かれている。そこで今回、顔面皮膚障害発生件数が最も多かった4点フレームを使用した脊椎手術に焦点をあて、術中に除圧(ブッシュアップ)を行い、顔面の皮膚障害が軽減できているかどうかの研究を行いたいと考える。ただし、現在の先行文献、先行研究では、手術中に腹臥位枕を使用する患者に対して、効果的なブッシュアップの時間のエビデンスがない。参考として、褥瘡学会のガイドラインには、15分に1回のブッシュアップを推奨しており、また長時間車椅子に乗っている場合、30分に1回のブッシュアップを推奨している。そこで臀部の体圧と比較し顔面の体圧が $1/2$ であること、手術状況や手術中に執刀医の協力が必要であることを考慮し、1時間のブッシュアップを設定し、除圧による皮膚障害予防効果を明らかにしたいと考える。

研究対象者の選定方針

研究対象者:整形外科の脊椎手術における4点フレーム位で手術をした患者で、研究協力の同意の得られた患者

研究予定期間 承認日(2018年3月30日)から西暦 2018年6月23日